

株式会社 Synspective への 独立行政法人中小企業基盤整備機構による債務保証制度を活用した シンジケートローンの契約締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、本日、株式会社 Synspective（代表取締役：新井 元行、以下「Synspective」）との間で、シンジケートローン総額 50 億円の契約を締結しました。

Synspective は、地表の観測を高頻度で行うことのできる小型 SAR（合成開口レーダー）衛星の開発・運用と SAR データの販売や解析までをワンストップで提供する宇宙ベンチャー企業であり、同事業は、地表の観測の様々なデータ提供を通じて、防災、都市計画、インフラ管理等をはじめ幅広い分野での活用が期待されています。Synspective は将来的に小型 SAR 衛星 30 基のコンステレーション（衛星群）構築を目指しており、今般、その取り組みに活用されます。

なお、本ローンは、独立行政法人中小企業基盤整備機構の「革新的技術研究成果活用事業円滑化債務保証制度」（※）を活用するとともに、複数の金融機関で組成するシンジケーション方式をとることで、日本の将来における新たな産業の創出を目指すベンチャー企業に対して官民が一丸となって支援します。

〈みずほ〉は引き続き、ベンチャー企業への様々な支援を通じて、日本の新たな産業の創出・発展に貢献します。

【本契約の概要】

契約締結日	2023年7月20日
融資金融機関 (シンジケート方式)	三菱 UFJ 銀行（アレンジャー） みずほ銀行（コアレンジャー） 商工組合中央金庫（参加行） りそな銀行（参加行）
融資金額	総額 50 億円
融資期間	5 年間
中小機構の保証割合	借入元本の 50%（25 億円）

※ 経済産業省から革新的技術研究成果活用事業活動計画の認定を受けたディープテック（大規模研究開発型）ベンチャー企業の量産体制整備のための資金等に係る指定金融機関等からの融資に対し、独立行政法人中小企業基盤整備機構が借入元本の 50%の債務保証を行う制度です（保証上限額は 25 億円）。

以上